

眼瞼下垂について

=通常の初診～術後の流れ=

初診

かかりつけの先生にご紹介いただくか、待ち時間は長くなりますが、予約なしでの受診も対応しております。既往歴などの問診や診察を行って、眼瞼下垂の原因を診断し、治療法を決定し、手術の予約を行います。通常予約日の2～3週間後程度となります。術前の採血、手術・入院の場合は入院のオリエンテーションを行います。

入院

入院を希望される場合は、手術前日に入院します。手術当日の入院も対応可能ですが、手続きなどでややせわしくなります。入院期間は3～4日間となります。

手術

手術を受けていただきます。挙筋前転術でしたら両眼で1～2時間程度となります。

まぶたの上にガーゼを貼ってお帰りいただきます。

術後当日

術後は腫れ、疼痛、出血予防のため、まぶたをクーリングして頂いています。術後の出血を起こさないために、できるだけ安静にして頂くのが望ましいです。また体温が上がるのも出血を促すため、当日の入浴シャワーは控えてください。

抜糸まで

抜糸までの期間は傷口に軟膏を塗ります。傷口が落ち着いてくれば(術後1～2日程度)、ガーゼを外して、洗顔・シャワーを許可します。

抜糸、抜糸後

術後6～10日程度で受診していただき、抜糸を行います。抜糸後は化粧も可能です。術後半年までは後戻りの可能性があるため、数ヶ月おきに再診して頂くのが望ましいです。